

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年3月22日 (2012.3.22)

【公表番号】特表2009-511036(P2009-511036A)

【公表日】平成21年3月19日 (2009.3.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-011

【出願番号】特願2008-535049(P2008-535049)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 9/96 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/14 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/16 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 9/96

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 35/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 9/14

A 6 1 P 7/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 1/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年2月6日(2012.2.6)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

かくして、本発明の特定の目的は哺乳動物、好ましくはヒトの細胞の内部においてテロメラーゼ活性の回復を誘導するたんぱく質またはペプチドの発現を可能にし、かつ以下のグループ、すなわち、

a) ヒト G S E 2 4 . 2 ヌクレオチド配列 (S E Q I D N O 1) から成るヌクレオチド配列、

b) a) の配列に類似するヌクレオチド配列、

c) a) および b) の配列のいずれかの断片、

d) a) , b) および c) に属するいずれかの配列を含むヌクレオチド配列、遺伝子構造に属している G S E 2 4 . 2 ヌクレオチドの1つまたは複数の配列から構成されているヌクレオチド配列、即ち、本発明の G S E 2 4 . 2 遺伝子配列にある。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0044】

一般に、類似のヌクレオチド配列は上述したヌクレオチド配列と実質上相同である。この記載に使用される意味において、表現「実質上相同」は当該のヌクレオチド配列が少なくとも30%、好ましくは少なくとも85%、またはより好ましくは少なくとも95%の同一度を有することを意味する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0055

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0055】

一般に、類似のアミノ酸配列は上述したアミノ酸配列と実質上相同である。この記載に使用される意味において、表現「実質上相同」はアミノ酸配列が少なくとも30%、好ましくは少なくとも85%、またはより好ましくは少なくとも95%の同一度を有することを意味する。